

慢性陰嚢痛の診断・治療に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年5月31日～2030年3月31日

〔研究課題〕

慢性陰嚢痛の評価方法および治療成績に関する後ろ向き研究

〔研究目的〕

慢性陰嚢痛に対する評価方法と治療経過を検討し、より効果的な評価および治療法の確立を目指します。

〔研究意義〕

帝京大学医学部附属病院では、泌尿器疾患の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効で安全な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っています。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気やその治療法の解明のために大変貴重なものです。そこで、当科では、過去に当院を受診された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、患者さんの診療に役立つ情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。

慢性陰嚢痛は未だその病態や診断および治療方法が確立しておらず、本邦での報告も少数です。本研究では過去に当院で慢性陰嚢痛と診断された患者さんの診療録を調査し、今後の評価方法、および治療の改善に役立つ知見を得ることを目的としています。

〔対象・研究方法〕

2015年4月1日から2021年3月31日までに帝京大学医学部附属病院泌尿器科を受診され、慢性陰嚢痛の診断となった患者さんが対象です。診療記録を閲覧し、患者様の個人情報（年齢、性別、身長、体重、既往歴、基礎疾患）、自覚所見、バイタルサインを含む診療経過、血液尿検査結果、画像診断結果、治療方法（内服治療、外科手術の種類、手術介入のタイミング等）、治療経過（治療効果、周術期経過、合併症、術後状態）等の医学情報を調査票に記入し、各種の統計解析を行います。研究者は帝京大学医学部附属病院に所属する者に限られます。過去の診療録を調査するだけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 泌尿器科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただきますことはありますが、その際も個人の特長が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するかどうかにより、実際の診療内容に影響はするものではありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。研究終了後に収集した個人情報を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：木村将貴（帝京大学医学部附属病院泌尿器科学講座 講師）

研究分担者：中川徹（同 主任教授）、山田幸央（同 講師）、金子智之（同 講師）、萩原奏（同 助教）、吉村巖（同 助教）

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211（代表）〔泌尿器科内線 33709〕